

安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 09. 06. 2025

製品: Adipic Acid - G

バージョン: 11.2

(30042497/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Adipic Acid - G

推奨用途: ホモポリマー及びコポリマー製造用, 化学合成用原料
非推奨用途: 食品添加物

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分1

水生環境有害性 短期(急性): 区分3

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 09. 06. 2025
製品: Adipic Acid - G

バージョン: 11.2

(30042497/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

注意喚起語:
危険

危険有害性情報:

H318 重篤な眼の損傷。
H402 水生生物に有害。

注意書き（安全対策）:

P280 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面/保護耳栓/…を着用すること。
P273 環境への放出を避けること。

注意書き（応急措置）:

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 直ちに医師に連絡すること。

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:
規制/注記にしたがって保管および取り扱いを行えば、特に危険はない。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

アジピン酸

CAS番号: 124-04-9
化審法: (2)-858
労働安全衛生法: (2)-858

GHS分類に寄与する成分

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 09. 06. 2025
製品: Adipic Acid - G

バージョン: 11.2

(30042497/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

アジピン酸

含有量 (W/W): $\geq 99.8\%$ - $< 100\%$

CAS番号: 124-04-9

化審法: (2)-858

労働安全衛生法: (2)-858

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[吸入した場合]:

粉塵を吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水、粉末、泡、二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

有害性は特になし。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

粉塵を発生させない。着火源を近づけない。蒸気／粉塵／エアゾールに暴露される場合は、呼吸保護具を着用すること。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

[環境に対する注意事項]:

環境への流出を避けること。排水溝に流さないこと。汚染された洗浄水は、回収し廃棄すること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。定められたように、汚染された物質を廃棄する。
残渣の場合: 水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。皮膚および眼との接触を避けること。適切な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用すること。労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

安全取扱注意事項:

粉塵を発生させない。本品は粉塵爆発を起こす危険性がある。着火源を近づけない。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

粉塵爆発クラス: 粉塵爆発 クラス2 (Kst-value 200 up to 300 bar m s⁻¹).

[保管]

アルカリおよびアルカリ化剤から離しておくこと。

適切な包装容器材料: ステンレス鋼 1.4401, ステンレス鋼 1.4301, アルミニウム, ガラス繊維強化プラスチック (GRP), 紙, 高密度ポリエチレン (HDPE), ガラス, 低密度ポリエチレン (LDPE)

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。

保管安定性:

固まる傾向がある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

アジピン酸, 124-04-9;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5 mg/m³ (ACGIHTLV)

【保護具】**[呼吸用保護具]:**

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。固体粒子に対して低効率の微粒子フィルター（例：EN 143 P1型もしくはEN 149 FFP1型）。

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）

ブチルゴム（ブチル）、肉厚0.7 mm

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。すべての汚染された衣類は直ちに脱がせること。作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	結晶状
色:	白色
臭い:	無臭
臭いのしきい値:	データなし。
pH:	2.7 (pH計) (23 g/l, 25 ° C)
	3.2 (10 g/l)
pKA:	4.43 (20 ° C)
融点:	150 – 153 ° C
沸点:	337.5 ° C (1,013 hPa)
	文献データ
昇華点:	適用情報なし
引火点:	該当しない、製品は固体である。
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 09. 06. 2025
 製品: **Adipic Acid - G**

バージョン: 11.2

(30042497/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

可燃性 (固体/ガス):	可燃性低い。	(EU指令 92/69/EEC, A. 10)
爆発下限界:	データなし。	
爆発上限界:	データなし。	
自然発火温度:	405 ° C	(DIN 51794)
熱分解:	測定されていない。	
自己発火性:	自己発火性なし。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
	温度: > 400 ° C	試験の種類: 高温で自己発火する (測定方法: EU指令 92/69/EEC, A. 16)
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
最小発火エネルギー:	10 - 30 mJ	(DIN EN 13821)
爆発危険有害事項:	製品は、爆発性ではないが、空気と塵の混合により粉塵爆発の可能性がある。	(EU指令 92/69/EEC, A. 14)
火災を引き起こす性質:	構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	
蒸気圧:	0.097 hPa (18.5 ° C) 文献データ	
密度:	1.36 g/cm ³ (25 ° C) 文献データ	
相対密度:	1.36 (25 ° C) 文献データ	
嵩密度:	約 700 kg/m ³	(その他)
相対ガス密度 (空気):	データなし。	
水に対する溶解性:	文献データ 23 g/l (25 ° C)	
溶解度 (定性的) 溶媒:	有機溶媒 可溶	
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow):	0.093 (25 ° C; pH: 3.3)	(測定)
吸着/水-土壌:	KOC: 1.61; log KOC: 0.21	(算出)
表面張力:	化学構造に基づき、表面活性はないと考えられる。	

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 09. 06. 2025
製品: Adipic Acid - G

バージョン: 11.2

(30042497/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

粘度:
データなし。

動粘性率:
データなし。

モル質量: 146. 14 g/mol

粒子特性

粒度分布:	約 60 µm	(D50, 体積分布, 測定)
	粒子 ≤ 4. 19 µm	2. 76 %
	粒子 ≤ 10. 48 µm	8. 79 %
	粒子 ≤ 103. 58 µm	78. 08 %
	微粒子 -	

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

粉塵を発生させない。粉塵の堆積を防ぐこと。製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 測定されていない。

[混触危険物質]:

アルカリ反応性物質

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

塩基性物質と反応して熱を発生する。粉塵爆発の危険性あり。

熱分解物:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。、不完全燃焼の結果、主に一酸化炭素と二酸化炭素を含有する毒性ガスが発生する。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 約 5,560 mg/kg (BASF試験)

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 7.7 mg/l 4 h (BASF試験)
エアゾールで試験した。

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮): > 7,940 mg/kg (その他)

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
皮膚刺激性なし。眼に重い障害を与える可能性がある。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: 回復不可能な損傷 (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。感受性が特に高い個体に対する感作作用は否定できない。

実験または計算によるデータ:
モルモット: 感作性なし (その他)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
哺乳類の培養細胞に対して変異原性を示さなかった。微生物及び哺乳動物を用いた様々な試験において、変異原性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:
長期間の餌による高濃度での投与動物実験において、発癌性は認められなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

長期動物試験において生殖器への影響は報告されていない。

発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

この物質の反復経口摂取では物質に関連した影響は生じなかった。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類に対する毒性:

LC0（0%致死濃度）（96 h） $\geq 1,000$ mg/l, ゼブラフィッシュ（学名：Brachydanio rerio）（その他, 止水式）

公称（濃度制限分析により確認）

水生無脊椎動物:

LC50（半数致死濃度）（48 h）46 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）（OECDテストガイドライン 202-1）

名目濃度

水生植物:

EC50（72 h）64.5 mg/l（成長率）, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit（OECDテストガイドライン 201, 止水式）

名目濃度

無影響濃度（72 h）40.6 mg/l（成長率）, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit（OECDテストガイドライン 201, 止水式）

名目濃度

微生物/活性汚泥への影響:

EC50（3 h） > 100 mg/l, 活性汚泥（OECDテストガイドライン 209, 好気性）

魚類に対する慢性毒性:

試験は、科学的に正当化されていない。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (21 日), 6.3 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 211) 名目濃度

陸生生物に対する毒性の評価:

試験は、科学的に正当化されていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

残留性・分解性

除去情報:

83 % ThOD (theoretical oxygen demand: 理論的酸素要求量) に対するBOD (30 日) (OECDテストガイドライン301D、EEC 92/69, C. 4-E) (好気性, 家庭廃水由来)

文献データ

水中での安定性評価:

構造特性から加水分解はされないと考えられる。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への濃縮性はないと考えられる。

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 3.16 (算出)

生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

未処理で河川等に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の条例を遵守し、適切なごみ焼却施設で焼却すること。

[汚染された容器]:

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 09. 06. 2025
製品: Adipic Acid - G

バージョン: 11.2

(30042497/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

IMO機器によるバルクの海上輸送**Maritime transport in bulk according to IMO instruments**

海上のバルク輸送は目的としない。

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

[追加情報]

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 非危険物

労働安全衛生法

表示対象物

06 2015

裾切り値 : 1 重量%

10

施行令第 1 8 条

労働安全衛生法

表示対象物

04 2018

裾切り値 : ≥ 1 重量%

10

施行令第 1 8 条

SDS及びリスクアセスメント要件 (日本)

通知対象物

08 2017

裾切り値 : 1 重量%

10

SDS及びリスクアセスメント要件 (日本)

通知対象物

02 2022

裾切り値 : ≥ 1 重量%

10

アジピン酸

労働安全衛生法

通知対象物

アジピン酸

労働安全衛生法

表示対象物

その他の規則

67/548/EECの付属書類に準拠

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。